

# 平成30年度 那覇市在宅医療・介護連携推進事業 介護職から医療職向け研修会

○日 時：平成31年2月27日（水） 午後7時30分～9時00分

○場 所：那覇市医師会・4階ホール

○参加者：43名（医師7名、看護師3名、保健師2名、MSW1名、薬剤師1名、栄養士3名、  
ケアマネージャー・ケアプランナー10名、社会福祉士2名、介護福祉士9名、  
その他5名）

○司 会：高江洲 あやこ（那覇市在宅医療・介護連携支援センター ちゅいしーじー那覇）

●テーマ：「いまなぜ『介護』が問いただされるのか… ～介護の重要性と課題～」

発表者：沖縄県介護福祉士会 会長 羽鳥 訓秀 氏



司会：高江洲 あやこ



発表者：羽鳥 訓秀 氏



総括：嘉数 朗 氏

※ 参加者アンケートの集計結果は別紙をご参照ください。

ディスカッションをしている風景





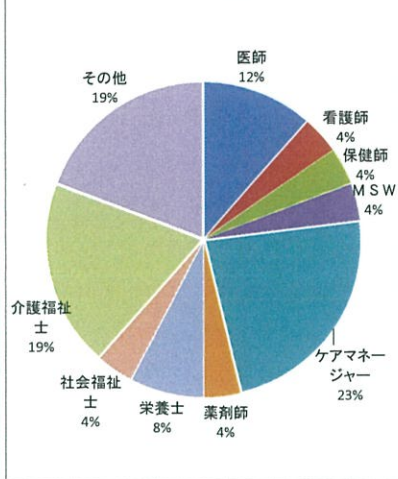
# 平成30年度 那覇市在宅医療・介護連携推進事業 介護職から医療職向け研修会アンケート集計結果

日時:平成31年2月27日(水) 午後7時30分～9時00分  
場所:那覇市医師会・4階ホール

参加者:43名  
回答者:23名  
回収率:53%

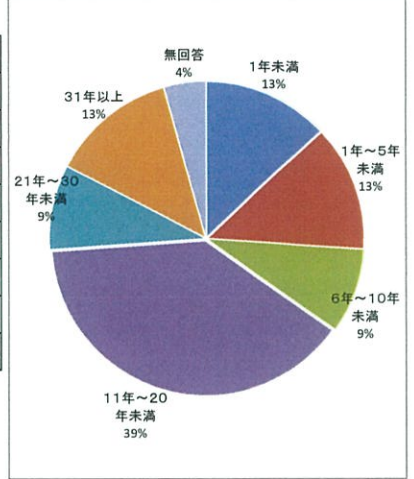
アンケート回答者の職種

職種	人数	割合
医師	3	12%
看護師	1	4%
保健師	1	4%
MSW	1	4%
ケアマネージャー	6	23%
薬剤師	1	4%
栄養士	2	8%
社会福祉士	1	4%
介護福祉士	5	19%
その他	5	19%
合計	26	100%



アンケート回答者の経験年数

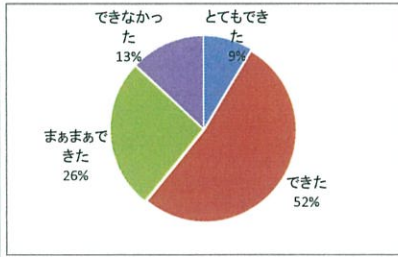
経験年数	人数	割合
1年未満	3	13%
1年～5年未満	3	13%
6年～10年未満	2	9%
11年～20年未満	9	39%
21年～30年未満	2	9%
31年以上	3	13%
無回答	1	4%
合計	23	100%



※職種の複数回答により、回答数と相違あり。

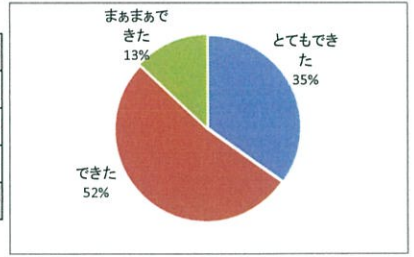
## ①ご自身の意見を遠慮なく発言することができましたか。

選択肢	人数	割合
とてもできた	2	9%
できた	12	52%
まあまあできた	6	26%
できなかった	3	13%
合計	23	100%



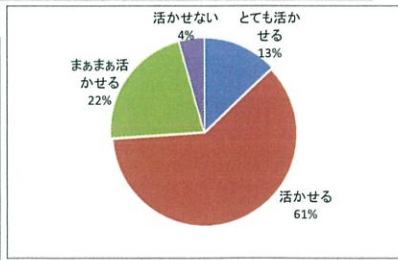
## ②「介護」の状況を理解することができましたか。

選択肢	人数	割合
とてもできた	8	35%
できた	12	52%
まあまあできた	3	13%
合計	23	100%



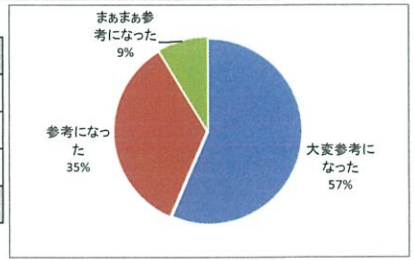
## ③明日からの業務に活かせますか。

選択肢	人数	割合
とても活かせる	3	13%
活かせる	14	61%
まあまあ活かせる	5	22%
活かさない	1	4%
合計	23	100%



## ④研修会の内容についてのご意見・ご感想。

選択肢	人数	割合
大変参考になった	13	57%
参考になった	8	35%
まあまあ参考になった	2	9%
合計	23	100%



- ・もっと参加者にディスカッションをさせて深めてほしかった。
- ・他職種から介護職がどのように見られているのか、マイナスのイメージが先行していることに現実を思い知らされた。
- ・当たり前のことがまだまだ他職種に認識されていないと思っているので、良い機会になったと思う。
- ・介護の課題について理解できた。他職種だが課題の解決に貢献できるよう応援したい。
- ・認定介護福祉士というキャリアを知り勉強になった。
- ・実際の介護現場の声を大きく伝えてくれた。
- ・職場に持ち帰り実践していくにはどうしたら良いのか、困難事でもあるように思った。
- ・介護職の将来に希望が少し見えてきた。
- ・沖縄県内の介護福祉専門学校4校で約70名の生徒しかない現実を思い知らされた。



平成30年度 那覇市在宅医療・介護連携推進事業  
介護職から医療職向け研修会アンケート集計結果

日時:平成31年2月27日(水) 午後7時30分～9時00分  
場所:那覇市医師会・4階ホール

参加者:43名  
回答者:23名  
回収率:53%

⑤テーマ:「いまなぜ『介護』が問いただされるのか…～介護の重要性と課題～」について 発表者:羽鳥 訓秀 氏

- ・介護の魅力を発信するためには、伝える立場である教員も介護という仕事のビジョンを確立させて未来が明るいことを発信してって人気をつくっていききたい。
- ・現実的には給与を上げることだと思うが、医療やリハビリを生活の各場面で介護技術として提供する介護福祉士の働きをもっと見える化して評価を認知してもらうにはどうしたら良いか?を考えさせられた。
- ・介護職だけでなくどの職種でも一緒に、少子化の中どう生き抜くのか?を考えています。まずは共感からだと思う。
- ・本当の現場の声がなかなか生かしきれない。
- ・介護職の重要性を再確認できた。利用者(高齢者)のことを一番身近で知っている重要な職種だと思う。
- ・重くなりがちテーマを明るく、分かりやすく話していただいた。
- ・分かりやすくとても良い内容だったので、もっと細かく聞きたかった。
- ・介護職の方に関して改めて現場で努力なされていることが理解できた。介護福祉士としてキャリアアップしていた身なので、本当に考えさせられた。とても言いにくい現場の現状を聞かせていただき本当にありがとうございました。今後とも連携が取れるように、また疲弊しないようにしていただけたらと思った。
- ・人手不足の現状が理解できた。高齢化社会の今、どのようにこれを改善すれば良いのか日本国全体で考えなければならないと思う。
- ・「最近者」と誇りを持って言える現場づくりが出来るリーダーが現れて、良い仕事環境に恵まれる仕事をして欲しいと心から願っています。本当に良い仕事だと思っています。当事者の声をもっと聞きたい、また聞いて欲しいと思った。

⑥今後、どのようなプログラム(テーマ)があったら参加したいと思いますか?

- ・介護士が発言できる機会をつくってほしい。
- ・同様な介護発信の研修会を多く開催してほしい。まずは多職種にすりこんでください。
- ・ユマニチュードなど心の内面のケアについて。
- ・生活保護世帯の問題について。
- ・多職種との連携について。
- ・介護からの話をもっと上げて欲しいとの医師からの話もあったように、実際現場でも直接意見を言いたいと思っている事は多くあります。今後の連携の取り方などがあれば是非参加したい。
- ・アルコール依存症などの支援について。
- ・家族が支援困難な事例について。
- ・精神疾患を持っている方を地域で支えるというようなテーマがあったら良いと思う。
- ・医療との連携などについて。

⑦その他、今回の研修会全体を通して、ご意見・ご感想等をお聞かせください。

- ・現場は確かに大変だと思うが、育成していくことも介護福祉士の仕事なので楽しくして仕事してほしい。
- ・介護施設へ医療機関等が出向いて指導や研修をする仕組みができるようにするためにはインセンティブが必要だと思った。医師会でもそのような介護施設のケアの質向上、介護福祉士の質向上、養成に貢献する病院を公表するなどしてバックアップしてみるのはいかがでしょうか?圏域で担当施設を決めて人材育成・連携をできれば良いと思う。
- ・介護福祉士自身がまずアピールしないと始まらないと思う。本を書いたり、NHKにドキュメント番組を作ってもらおうなど。
- ・利用者と寄り添うケアがキャリアパスだけでは不足である。
- ・介護福祉士のレベルアップを応援しています。
- ・介護職の重要性や介護へのイメージアップについて考えさせられる研修でした。
- ・私も介護福祉士の資格を持っているが、資格を活かした仕事には就かなかったので、改めて自分が介護の現場から遠のいてしまった理由を自覚することになった。介護としてのスキルアップは現場の人の新たな希望に繋がるなと思った。



平成30年度 那覇市在宅医療・介護連携推進事業  
介護職から医療職向け研修会アンケート集計結果

日時:平成31年2月27日(水) 午後7時30分～9時00分  
場所:那覇市医師会・4階ホール

参加者:43名  
回答者:23名  
回収率:53%

⑧グループワーク:「なぜ、介護の仕事は人気がないのか?」のご意見まとめ

- ・人間関係
- ・時給が低いなど将来性が見えない
- ・人手不足により研修など成長する機会がない
- ・大変なのに給料が安い
- ・人任せにされる
- ・重労働で腰や肩を痛めている。
- ・時間が(勤務)が早出・日勤・夜勤とある
- ・経営者だけが儲けていないかと不満
- ・誰でもできる仕事というイメージ
- ・看護師の下働き扱いされる
- ・忙しくて自由な時間がない
- ・やりがいがない
- ・社会的に認められていないイメージ
- ・社会的な評価が低い
- ・家族の介護の延長とみられる(専門職というイメージが薄い)
- ・変なイメージ先行で学校の先生や親からあまりすすめられない
- ・現場の指導力が足りない(技術)
- ・現場での声があがりにくい
- ・イメージアップが足りない
- ・仕事がハードなイメージ
- ・利用者からの要求に応えられずストレス
- ・マンパワー不足
- ・何が起るのかかわからないのが怖い
- ・看護師などと同じ国家資格なのに給料が安いので不公平
- ・時間に縛られていて勤務時間がバラバラ
- ・汚いイメージ(汚物処理、吐いた物の処理など)
- ・職場での地位が低い
- ・資格を持たないでも出来ると思われている
- ・医療と比べ患者さんが改善する事がない
- ・人の死に逝く、精神的にキツイと思う
- ・3Kのイメージがある(キツイ・汚い・給料が安い)
- ・介護職からの発言が少ない
- ・仕事として楽しくなさそう
- ・仕事内容のイメージがつかない
- ・「介護」というネーミングが良くない
- ・安全が保たれていない
- ・どこでも働ける
- ・キャリアイメージがわからない
- ・親に介護の仕事、学校に行くことを反対された
- ・他の人が休んでいるときに働いているように思われる
- ・教育がされない
- ・オムツ交換のイメージ
- ・ネガティブなイメージ
- ・仕事が休めないイメージ
- ・ロールモデルが少ない
- ・デイや老人ホームの利用者が怖い
- ・シフト制で、休みが取りづらいし、休んだ気がしない
- ・休日が希望通り取れない

